

広報

やまと

11 月号

2013 No.230

特集

絆を深める伝統の祭り。



～十五夜豊年祭・クガツクンチ～

変わりゆくもの。守るべきもの。

集落のミャー（広場）や土俵など豊年祭を取り巻く環境は大きく変わった。そして、集落のために祈るノ口神は途絶えようとしている。時代の変遷と共に豊年祭は変化を余儀なくされているのだろう。しかし、今もなお共同で作業をこなしミキを作る人たちがいる。伝統芸能を学び、確実に次世代へつなぐ人たちがいる。時代の波にさらされながらも集落の絆と伝統を守り続ける人たちがいる。

十五夜豊年祭とクガツクンチ
大和村には11の集落があり、豊年祭は八月十五日を祭り日とする「十五夜豊年祭」と、九月九日を祭り日とする「クガツクンチ」の二日に別れます。
十五夜豊年祭を行うのは津名久、大和浜、大棚、大金久、戸円、志戸勘、今里の七集落。クガツクンチを行うのは国直、湯湾釜、思勝、名音の四集落。いずれも平日の開催では運営が困難なため、直近の日曜日に引き寄せて開催しています。
実施内容は概ね似通っており、トネヤやテラで祈願を行う「ガンタテ」。神聖な泉で力水を汲む「ミズクミ」。トネヤやテラから土俵まで行進する「フリダシ」。男性による「奉納相撲」。女性や子供達による「余興」。料理の提供や仮装行列の体を成す「ナカイリ」。土俵を囲んで踊る「八月踊り」等があります。



ノ口神によるお払い（大棚）



十五夜豊年祭（今里）

絆を深める伝統の祭り。

特集

奄美大島の八月（旧暦）は稲や甘蔗、里芋などの主要作物の収穫と、野菜や山芋の播種の狭間にあたり、生業暦のトシが改まる月。聖なる時間としての八月は農耕生活の正月と言えるでしょう。村人は収穫を終えると豊穣に感謝し、集落の安全を願い、豊年祭を執り行ってきました。

険しい地形に閉ざされたシマ（集落）ではおのずと人々の結びつきが強く、ユイと呼ばれる相互扶助の精神で助け合ってきた。そんな村人にとって豊年祭は一年を通しての最大行事であり、最高の娯楽でもありました。収穫を共に喜び、豊年祭を共に楽しむことで集落の絆を深めてきたことでしょう。近年、生活様式の変化や稲作の衰退と共に豊年祭の形態も変わりつつあります。しかし、地域の絆を深める大事な伝統行事であることに変わりなく、現在も助け合いの精神は脈々と受け継がれています。
2013年に行われた十五夜豊年祭とクガツクンチの取材を通じ、変遷しながらも受け継がれていく豊年祭の過去・現在・未来を見つめます。

祭りの準備

祭りの主会場となる土俵は、祭りの前日に男達によって作られます。土俵の四本柱は、以前は枝葉のついたイタジイの太木を山から伐り出して建てたと聞きますが、現在は各集落公民館前に常設の土俵が整備され、造成作業は大幅に軽減されました。
祭りで使用される米や塩、甘藷、薪などは婦人会が各世帯から徴収し賄っていましたが現在はその多くは集落費で購入します（一部の集落では米や金銭等を徴収する風習が残っているようです）。

昔ながらのミキ作り

ミキ（神酒）は米粉を原料とする発酵飲料で、奄美大島をはじめ南西諸島円域で広く神事に用いられています。



豊年祭の朝にミキを開封する泉さん（思勝）

近年は市販のミキを使用するのが一般的となるなか、思勝集落ではミキ作りが続けられています。

ミキ作りは祭り前日に婦人達によってトネヤで行われます。昔ながらのレシビは次のとおり。

①サツマイモを刻みアクを抜いた後にミキサーで粉砕し生ガン（絞汁）を取る。②八升のお湯に米粉三升、白糖三キロを加え糊状になるまで混ぜる③②が冷めたら①を混ぜまんべんなくこねる④容器に移しクワズイモの葉で密閉して一晩寝かす。

寝かしたミキの開封役を仰せ付かったのは巳年生まれの泉美保子さん。緊張の面もちで開封しかき混ぜると香ばしく甘酸っぱい香りが広がりました。今年も思勝名物の手作りのミキが完成したようです。



大和浜集落伝統の棒踊り

全員参加の伝統行事。

相撲はシマに根付く伝統文化。奉納相撲は祭りの華だろう。
真剣勝負が繰り広げられる神聖な土俵は女人禁制だ。
豊年祭は男の祭りだろうか？・・・答えはNo。
ノロ神、ミキ作り、ナカイリとむしろ女性のほうが重要な役割を担う。
豊年祭は新生児からお年寄りまで全員参加の伝統行事だ。
集落全体の安全と連帯を祈って全員で祈り、祝う。

祈願を終えると、いよいよ「フリダシ（列をなして土俵へ向かう行進）」で幕開け。力士達は、神聖な泉で汲んだ水や塩、焼酎を手に、「イヤーヨーイヤー！」「ヨイヤーヨーイヤー！」の掛け声と、チジン（鼓）を打ち鳴らし公民館までのカミミチを行進します。

隊列はノロ神やグジュシ（トネヤの主）、区長、行事、旗持ち等先頭に行進しますが、今里集落では「シタン」と呼ばれる体中に墨で落書きをした青年が先導を務めます（画像②③⑦）。

フリダシは、村の神様に豊年祭を見物してもらうために、土俵まで神様をトモする（案内する）行為との言い伝えがあります。

また、初めて豊年祭を迎える男の子は、ネジリ鉢巻きと化粧回しを付け土俵入りを行います。赤ちゃんを抱いた父親が四股を踏むと、「ヨイショオー！」と会場から大きな掛け声が上がります。新生児の初土俵は最も祭り会場が和む一時です（画像④⑤⑨）。

さらに、児童生徒や婦人会、老人クラブの有志はこの日のためにシマ唄や踊りを準備。相撲の取り組みの間に披露され、祭りに華を添えます。

大和浜集落では、婦人会による「ナギナタ踊り」や、青年団による「棒踊り」など古くから伝わる伝統芸能が奉納されました（画像⑥⑧・2P）。



生花や造花で飾られたチカラウバン（大棚）

なお、ナカイリで供されるチカラウバンは食べると元気になると言われ、力士をはじめ来場者全員に配られます。

— Photo Snap —

- ① トネヤでの祈願（大棚・里地区）
- ② フリダシ（大棚・池田地区）
- ③ 行事を先頭にフリダシ（思勝）
- ④ 新生児の初土俵（国直）
- ⑤ 三人抜きによる豊年相撲（津名久）
- ⑥ 婦人会による余興（津名久）
- ⑦ シタンが先導するフリダシ（今里）
- ⑧ 婦人会によるなぎなた踊り（大和浜）
- ⑨ 豊年相撲を閉める土俵上げ（国直）

祭りのフリダシ（振り出し）

豊年祭はトネヤやテラでの祈願が始まります。神様に一年の無事と収穫の感謝を捧げ、さらに向こう一年の安全と豊作を祈願します。

大棚集落は、豊年祭とノロ神（女性祭司）との結びつきが色濃く残る集落。祭りの朝、池田地区のトネヤに神役と集落役員が集まり村の安全を祈願します。その後、里地区のトネヤに移動し、同様にカミグチを唱え祈願。さらには、祭りで使用する酒や塩、まわし、チジン（鼓）等一つずつ丁寧に清め、力士の無事と祭りの成功を祈ります（画像①）。

相撲と余興

奉納相撲の取り組みは青年による「前相撲」で始まり、乳幼児の取り組み、個人戦、兄弟相撲、三人抜きと続く他、祭り日を別にする他の集落から力士達が応援に駆けつけ集落対抗戦が行われます。

土俵に上がる力士には、土俵下の控え力士から「ヨイヤ、ヨイヤ、サッ！」と四股を踏んで力が送られます。

友人同士の取り組みでは、勝負がついた後も「もう一番！」と再試合を挑む者や、身内同士の勝負に懸賞金を掛ける者などが現れ、観客から歓声がある一幕も。

女性も参加するナカイリ

取り組みが佳境を迎えた頃になると力士や婦人、子供達による「ナカイリ（中入り）」が行われます。

ナカイリは、チカラウバン（力御飯）やバカイキャ（とびいか）、ウム（里芋）、天ぷらなどの料理箱を担いだ力士と、奇抜な服装で着飾った女性や子ども、お年寄り達が踊りながら土俵のまわりを周回します。相撲を取らない女性達にとって仮装して踊ることは「キトバレ（邪気を追い払う）」の意味もあり、派手な出で立ちほど演技がよいと信じられています。





ノ口神を中心にして海岸での浜願（大棚集落・池田地区）

特集 絆を深める伝統の祭り。

人知れず祈る「思い」。

ノ口とは琉球神道の影響を強く受けた女性祭司たち。古くから祭事や農耕儀礼の中心的役割を果たした精神的な象徴。彼女らの祈りの対象は決して個人ではない。両手をあわせ「シマバママモティタボレ（集落をお守りください）」と唱える。集落の平和と安全を願う無償の行為だ。人知れず祈る彼女らによって集落は守られている。



主な参考文献
「奄美大和村の年中行事」
個展と民俗学の会
白帝会（昭和60年発行）

海岸で行うハマジヨガンと庭で行うニワガンがありますが、いずれも砂（室内では米）を二山盛り、線香や酒、ミキ、シュウギ（生餅粉）、シユーク（馳走）をお供えして祈ります。

九月九日当日は、早朝から海岸に降りてお祈りや砂を取る女性達の姿が見られました。

大棚集落ではノ口神の永島チヤ子さんを中心に、ヒキ一族が海岸で海に向い両手を合わせていました。「今日の良かる日に・・・」と永島さんがカミグチを唱え全員で一年間の家内安全を祈りました。永島さんによると「神様にガンタテをしたら（ガンタテをした）全員で下ろさないと災いがおこります。今日は無事にガンタテ・ガンノーシが済んでほっとしました」と安心した様子。永島さん達の無心に祈る姿に「人知れず集落民の安全を祈る女性達によってシマは守られている」。そう確信しました。

特集 絆を深める伝統の祭り。

ワキャシマヌウタを唄う。

しまのイビ加那志 しま守で給れ
七口七夜や 祝ておせろ

（集落のイビ神様 わが集落を守ってください）

（七日。。。。。。 七夜、八月踊りを祝って差し上げましょうから）

～八月踊り歌詞から～

歌詞の内容もあいさつから恋愛歌、人生訓など多岐に渡り、その多彩さから「唄半学」（シマウタを知れば学問の半分を習ったに等しい）という諺があるほど。

歌詞や節回し、踊りはシマ（集落）ごとに異なり、独自に伝承されてきました。となりの集落であっても唄えないことが多く、この独自性こそがシマの共同体組織を象徴する踊りといえるでしょう。

しかし、その独自性、多様性が八月踊りの伝承を危うくしているのも事実です。学びの場の減少や唄い手の高齢化から各集落で伝承に苦慮していると聞きます。以前なら先輩の背中を見て自然と憶えた八月踊りですが、今では勉強会を開催しなければ唄うことも踊ることもできません。

近年、若者達の中には島の伝統文化に誇りを持ち、シマウタを伝承しているという気運が高まりつつあります。彼らが学ぶのはヨソジマ（他の集落）の唄ではなく、オヤフジ（祖先）から受け継いだ唯一のワキャシマ（私たちの集落）の唄。

集落に伝わる唄を集落の人々と共に唄う八月踊りこそシマンチュの連帯感を深める絆でしょう。まだまだおぼつかない若者達の唄声ですが、その声は力強く集落の夜空に響き渡ります。



豊年祭での八月踊り（国直）

大棚 V 6 達成！ ☆ 名音躍進賞受賞！

大和村民体育大会成績一覧

種目	1 位	2 位	3 位	種目	1 位	2 位	3 位
小学 1 年女子 100m	中島 心嘉	宮島 瑠璃	井上奈津美	ボール蹴り	大 棚	宮古崎	大和浜
小学 2 年女子 100m	林 琉音	中島 心那		宝つり	戸 円 ・ 名 音 ・ 今 里		
小学 3 年女子 100m	賀川 美紀	川畑光智慧	宮本 心満	新走回転	—	—	—
小学 4 年女子 100m	佐多 萌笑	江崎 仁美	稲元 音色	俵運搬リレー	大 棚	今 里	名 音
小学 5 年女子 100m	重信 優香	中島 心優	森 彩花	女子ファミリー縄跳び	大 棚	おがみ	宮古崎
小学 6 年女子 100m	林 美嶺	徳島 千聖	塩屋 美空	男子ファミリー縄跳び	大 棚	宮古崎	名 音
小学 1 年男子 100m	元山 漣	登喜 健大	白石 輪	女子年代別リレー	おがみ	大和浜	宮古崎
小学 2 年男子 100m	出見 優斗	重田 俊輔	奥田 寛太	男子年代別リレー	大 棚	おがみ	名 音
小学 3 年男子 100m	久保 颯汰	政村 李玖	徳 楓汰	女子輪入れ	—	—	—
小学 4 年男子 100m	林 二刀流	福田 幹太	佐多 健伸	男子輪入れ	—	—	—
小学 5 年男子 100m	森田祥太郎	出見 颯	山下 竜輝	タイヤ回し	—	—	—
小学 6 年男子 100m	賀川 翔瑛	福田 蓮人	政村 紫音	女子百発百中	—	—	—
中学 1 年女子 100m	中 明日海	上野 真歩	福山 祐実	男子百発百中	—	—	—
中学 2 年女子 100m	重野 七海	大山瀬李華	津田 祐奈	綱引き	—	—	—
中学 3 年女子 100m	重信 彩美	田畑 楓	大石 眞子	メディシンリレー	おがみ	大 棚	今 里
中学 1 年男子 100m	赤井 将輝	登喜 龍生	高島 洋	ムカデ競争	大 棚	おがみ	宮古崎
中学 2 年男子 100m	賀川 航太	福山 勇成	勝 純一	米俵運搬リレー	大 棚	宮古崎	大和浜
中学 3 年男子 100m	前田凌太郎	小田 康太	林 聖蓮	玉入れ	—	—	—
中学女子 200m (1)	前田 侑香	福山 祐実	森岡 めい	女子ゲートボール	—	—	—
中学女子 200m (2)	重信 綾美	武原 美希	大山瀬李華	男子ゲートボール	—	—	—
中学男子 200m (1)	小田 康太	直崎 大生	林 聖蓮	夫婦 2 人 3 脚	—	—	—
中学男子 200m (2)	賀川 航太	登 海人	長田虎太郎	ビン倒し	—	—	—
高校女子 100m	前田 友梨	登 美砂希	山田 流衣	女子水入れ	おがみ	今 里	大 棚
高校男子 100m	畑島亮太郎	林 龍星	愛川 蓮	男子水入れ	おがみ	宮古崎	大 棚
高校男子 200m	大山 勇雅	畑 直哉	堀 流石	小学 400m リレー	おがみ	大 棚	宮古崎
一般女子 100m	里原ありさ	原 彩	川下恵理子	中学 600m リレー	大 棚	大和浜	宮古崎
一般男子 100m	市田晋太郎	久保田勝輝	勝山 慎也	高校 600m リレー	宮古崎	おがみ	大 棚
一般男子 200m	福島 秀太	泉 大地	重村 智大	一般女子 400m リレー	宮古崎	大 棚	大和浜
30 以上女子 100m	森 仲子	下之蘭由美	直島 弓穂	一般男子 800m リレー	大 棚	おがみ	今 里
40 代男子 100m	森田 裕三	満 淳一郎	登 博志				
50 代男子 100m	松尾 和義	内山 英寿	戸内 菊治	新記録			
60 代男子 60m	福永 則雄	久永 悦男	永井 喜平	米俵運搬リレー	大 棚		1.23.33
一般男子 400m	福島 秀太	吉本 弘典	早川 翔				
一般 1,500m	政村玲於奈	宮本 聖平	太 純一	男女総合	大 棚	おがみ	宮古崎
				女子総合	大 棚	宮古崎	大和浜
				躍進賞	名 音		

そんたい開催！

第 51 回大和村民体育大会



「スポーツと 結いで築く まほろば大和！」

「スポーツと結いで築くまほろば大和！」をスローガンに第51回大和村民体育大会が10月20日、大和中学校グラウンドにて開催されました。

大会は村内の11集落を7チームに編成し、保育園児から高齢者まで村民全員が参加する村最大のスポーツイベント。当日は断続的に雨が降る悪天候の中、参加者達は泥まみれになりながら競技を競いました。なかでもムカデ競争はぬかるんだグラウンドに足を取られ転倒者が続出。会場は大きな声援と爆笑の渦に包まれました。

大会名物の「ジャンケン村一番」では多くの来場者が参加し真剣勝負を展開。上位入賞者は液晶テレビや加湿器、自転車などの高額商品を手に入れました。

大会は全種目で安定した力を発揮した大棚チームが6連覇を達成したほか、名音地区が躍進賞を受賞しました。

また、体育功労者表彰として鹿児島県バドミントンABC大会少年Cにて優勝した奥田寛太くんと鹿児島県中学総体水泳競技400メートルメドレーリレーで準優勝を果たした大和中水泳部が表彰されたほか、同競技100メートル平泳ぎで優勝の長田虎太郎くんが特別表彰に、永年本村体育指導に尽力された中山高栄さんに文部大臣表彰の伝達が行われました。

これからも大会スローガンのもとスポーツと結いで住民の親睦を図って村を元気にしていきたいと思います。

集落の誇りをタスキに繋いだ伝統のレース

村内一周駅伝競走大会・30 回の歴史に幕



村内一周駅伝競争大会コース

第30回集落対抗村内一周駅伝競走が11月17日に開催され、今里集落をスタートし村内を一周する14区間、25.02キロのコースで各集落の代表が健脚を競いました。大会には村内各集落から9チーム126名の選手が参加。秋晴れのもと集落の栄誉をかけ秋の大和路を駆け抜けました。

レースは西部地区チーム（大金久・戸円・名音・今里）が9区で先頭に立ちそのままゴール（オープン参加のためチーム成績は無し）。終盤に追い上げた大棚チームが優勝を果たしました。また、終盤まで首位争いを繰り広げた国直チームが2位に食い込んだほか、

昨年から3分53秒タイムを縮めた思勝チームが躍進賞を獲得しました。

なお、開催30回を数える本駅伝大会ですが、人口の減少や少子化の影響により各チームとも選手選考に苦慮。大会運営委員会で検討を重ねた結果、今回をもって大会を終了することとなりました。伝統ある大会が無くなってしまうのは大変寂しくもありますが今後はジョギング大会など形を変えてスポーツの振興を図る予定とのこと。

今後もスポーツを通じて健康の増進と生涯学習の振興に取り組んで行きましょう。

なお、大会成績は左記のとおりです。

区間	総合	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	13区	14区
地区	今里～思勝	今里	志戸勘	屋浜	名音	戸円	磯平	嶺山	大金久	大棚	大和浜	湯湾釜	国直	湯湾釜	津名久
距離	25.02km	1.71km	0.94km	1.83km	2.71km	1.31km	1.45km	2.50km	0.99km	3.99km	2.42km	1.41km	1.13km	1.54km	1.09km
記録	1:36.09 大和浜 (26回)	05.42 平 昂大 (大和浜)	03.16 福島 秀太 (津名久)	06.19 登 博志 (湯湾釜)	08.23 吉村 公広 (思勝)	05.51 森 孝雄 (大和浜)	05.55 川下 誉 (大棚)	07.12 川野 博司 (名音)	03.19 田畑明日香 (津名久)	12.47 川床 拓也 (大和浜)	08.00 伊集院 卓 (大和浜)	05.12 前田凌太郎 (大棚)	04.26 下之菌由美 (大棚)	05.21 森 英美乃 (大和浜)	03.35 中村 修 (国直)
1位	大棚 A (2) 1:39.04 前田清和監督	直崎 大生 (5) 0:06.18 5 06.18	森田祥太郎 (3) 0:09.49 2 03.31	川下 誉 (1) 0:15.47 1 新 05.58	藤村 倅生 (1) 0:26.12 4 10.25	藤村 雄樹 (3) 0:34.16 8 08.04	中島 繁 (3) 0:41.29 2 07.13	奥田 光夫 (3) 0:49.41 3 08.12	直崎 京花 (3) 0:53.27 1 03.46	前田凌太郎 (3) 1:08.48 3 15.21	森田 裕三 (3) 1:19.37 5 10.49	中島 心優 (3) 1:25.14 1 05.37	下之菌由美 (3) 1:29.47 1 04.33	前田 侑香 (2) 1:35.41 1 05.54	太 純一 (2) 1:39.04 1 新 03.23
2位	国 直 (3) 1:40.06 岡崎勇次監督	福山 勇成 (6) 0:06.31 6 06.31	塩屋 美空 (6) 0:10.36 8 04.05	南雲 聡 (4) 0:17.09 2 06.33	高島 洋 (3) 0:26.44 2 09.35	大山 勇雅 (1) 0:32.55 2 06.11	晨原 諭 (2) 0:40.33 7 07.38	李 大慶 (1) 0:48.03 1 07.30	大山瀬李華 (1) 0:52.01 3 03.58	江崎 隼太 (2) 1:08.26 5 16.25	愛川 蓮 (2) 1:17.34 1 09.08	愛川 祐生 (2) 1:23.54 5 06.20	南雲 千明 (2) 1:29.37 8 05.43	中 明日海 (3) 1:35.47 2 06.10	濱井 康彰 (3) 1:40.06 5 04.19
3位	津名久 (4) 1:42.56 宮本聖平監督	林 聖蓮 (2) 0:06.10 2 06.10	林 美嶺 (4) 0:09.53 4 03.43	林 就義 (6) 0:18.23 8 08.30	三浦 賢人 (4) 0:27.54 1 09.31	中山 恵 (5) 0:35.03 5 07.09	稲元 太士 (5) 0:43.11 8 08.08	中山 一三 (5) 0:51.32 5 08.21	福山 祐実 (5) 0:55.31 4 03.59	宮本 聖平 (4) 1:10.14 1 14.43	福島まもる (4) 1:20.12 4 09.58	林 二刀流 (4) 1:25.51 2 05.39	栞山 里沙 (4) 1:32.15 9 06.24	武原 美希 (4) 1:38.41 4 06.26	武原 正人 (4) 1:42.56 4 04.15
4位	湯湾釜 (5) 1:44.38 元島敏昭監督	登 海人 (1) 0:05.40 1 新 05.40	政村 紫音 (1) 0:09.25 5 03.45	森 亮 (5) 0:18.18 9 08.53	中濱三四郎 (6) 0:29.15 6 10.57	上村 拓三 (7) 0:36.40 6 07.25	東條 初美 (7) 0:44.05 4 07.25	吉本 弘典 (6) 0:51.51 2 07.46	森 仲子 (6) 0:56.32 8 04.41	政村玲於奈 (5) 1:12.10 4 15.38	登 博志 (5) 1:21.23 2 09.13	政村 李玖 (5) 1:28.25 8 07.02	牧野 絵里 (5) 1:33.22 7 04.57	蔵 野々夏 (5) 1:40.04 5 06.42	蔵 正 (5) 1:44.38 8 04.34
5位	大和浜 A (6) 1:46.32 泉富保監督	小田 康太 (3) 0:06.13 3 06.13	森岡 敬司 (5) 0:09.55 3 03.42	納 孝行 (3) 0:17.01 4 07.06	泉 大地 (5) 0:28.28 7 11.27	仁規将太郎 (4) 0:34.36 1 06.08	上村 太一 (4) 0:42.03 5 07.27	直島 秀治 (4) 0:50.18 4 08.15	重信 綾美 (4) 0:54.48 7 04.30	濱崎 大輝 (6) 1:12.45 7 17.57	神田 佑八 (6) 1:24.13 8 11.28	重信 優香 (6) 1:30.16 3 06.03	元山沙優里 (6) 1:35.07 5 04.51	森岡 めい (6) 1:42.11 8 07.04	仁添 錦 (6) 1:46.32 6 04.21
6位	思勝 (7) 1:47.57 和泉豊一監督	勝 純一 (6) 0:06.31 6 06.31	屋井 優羽 (7) 0:11.01 9 04.30	福本 新平 (7) 0:18.30 6 07.29	小椋 崇弘 (7) 0:29.25 5 10.55	三田陽一郎 (6) 0:36.30 4 07.05	山口 良彦 (6) 0:43.47 3 07.17	松尾 和義 (7) 0:52.29 7 08.42	市田 圭乃 (7) 0:56.48 6 04.19	市田晋太郎 (7) 1:13.15 6 16.27	和泉 和香 (7) 1:24.36 7 11.21	田畑 錬哉 (7) 1:31.45 9 07.09	勝間田さとみ (7) 1:36.38 6 04.53	田畑 楓 (7) 1:43.36 7 06.58	馬場 修身 (7) 1:45.57 6 04.21
7位	大棚 B (8) 1:53.22 永井喜平監督	内山 夏希 (9) 0:08.10 9 08.10	佐多 健伸 (9) 0:12.05 6 03.55	伊集院 将 (9) 0:19.38 7 07.33	今井 隆 (9) 0:32.36 9 12.58	直崎 武志 (9) 0:40.16 7 07.40	今井 真作 (8) 0:47.43 5 07.27	前田 逸人 (8) 0:57.43 9 10.00	上野 真歩 (8) 1:01.38 2 03.55	杉島 勇 (8) 1:20.56 9 19.18	佐多 巖 (8) 1:32.00 6 11.04	直崎 広生 (8) 1:38.30 6 06.30	杉島 智美 (8) 1:43.19 2 04.49	堀 美南 (8) 1:49.31 3 06.12	上野 達也 (8) 1:53.22 2 03.51
8位	大和浜 B (9) 2:02.32 仁添史密監督	仁規 汰一 (8) 0:07.32 8 07.32	福田 蓮人 (8) 0:11.31 7 03.59	三田 文也 (8) 0:18.54 5 07.23	静 大五郎 (8) 0:31.18 8 12.24	新納 晃幸 (8) 0:39.56 9 08.38	赤井 光則 (9) 0:53.30 9 13.34	南 友洋 (9) 1:02.19 8 08.49	出見友里香 (9) 1:07.57 9 05.38	濱崎 蓮 (9) 1:25.57 8 18.00	福田 勝則 (9) 1:38.38 9 12.41	南 礼羅 (9) 1:45.12 7 06.34	小田裕莉明 (9) 1:50.01 2 04.49	福田そよか (9) 1:57.27 9 07.26	畑島 盛義 (9) 2:02.32 9 05.05
OP	西部地区 (1) 1:38.17 川下光監督	賀川 航太 (4) 0:06.14 4 06.14	賀川 翔瑛 (2) 0:09.43 1 03.29	白石 聡 (2) 0:16.21 3 06.38	川下 光 (2) 0:26.42 3 10.21	早川 太 (2) 0:33.18 3 06.36	森岡 豊史 (1) 0:39.48 1 06.30	宮田 龍 (2) 0:48.09 5 08.21	竹本 奈美 (2) 0:52.08 4 03.59	赤井 将輝 (1) 1:07.10 2 15.02	前里 亮 (1) 1:16.24 3 09.14	白石 大晴 (1) 1:22.33 4 06.09	里原ありさ (1) 1:27.22 2 04.49	津田 祐奈 (1) 1:34.10 6 06.48	満 淳一郎 (1) 1:38.17 3 04.07



1区今里 登海人選手（湯湾釜）



4区名音 高島洋選手（国直）



5区戸円 藤村雄樹選手（大棚）



6区磯平 大山勇雅選手（国直）



9区大和浜 前田凌太郎選手（大棚）

あらゆりゆりよ～稲すりすりよ～♪

平成25年度大島地区子ども会大会大和村大会

大和村子ども会育成連絡協議会と大和村教育委員会主催による「平成25年度大島地区子ども会大会大和村大会」が11月10日、大和村中央公民館で開催されました。

同大会は、村内の各子ども会員及び育成者・指導者が一同に集い、お互いの活動状況を発表し合うことにより活動の充実を図ることを目的として開催しています。村内の9つの子ども会には、幼児から高校生まで190人が登録しています。大会には子ども会員や保護者、教職員、地域住民など多くの人が参加。子ども会活動の事例報告や伝統芸能、ダンスなどが発表されました。

それぞれの子ども会は、大金久「稲すり節」・湯湾釜「ムチモレ踊り」・大和浜「棒踊り」など、集落に伝わる伝統芸能の披露や、国直・大棚・津名久では事例発表、思勝・名音ではダンス、今里ではサンシンと島唄を披露しました。

大金久子ども会の「稲すり節」は、田植えから収穫、餅つきと稲作の様子をユーモラスに表現（下段画像）。最後には観客席に向かって餅をまき、来場者から大きな歓声が沸きました。

年齢の異なる子供達が子ども会活動を通じ、自主性や社会性を身につけ、心身共にたくましく人間性豊に成長することを願います。



いも～れ、僕たちの学校へ！

地域がはぐくむ『かごしまの教育』県民週間

鹿児島県教育委員会は、学校・家庭・地域の連携の下、県民一人一人が鹿児島県の教育について考える機運を高め、本県教育の充実と発展を図るため、毎年11月1日から7日までの間、「地域がはぐくむ『かごしまの教育』県民週間」を設けています。

大和村では同県民週間を「いも一れ学校週間」と銘打ち村内すべての小中学校を開放。できるだけ多くの方々に学校や子供達の様子を見てもらおうと、期間中は通常の授業の他、学習発表会や地域のみなさんとの交流など特色ある行事を開催しました。

11月1日、大棚小学校（山之内和英校長）では地域の高齢者のみなさんと餅つきを行いました。ついた餅米は、田植えから除草、稲刈りまで高齢者の指導を受け収穫した自家製米。この日も「しっかりつかんば（しっかりつきなさい）」と激励されながら杵をつきました。つくたてのお餅は小さく丸めて給食でいただい

たとのこと。自分たちの手で収穫しつuitaお餅はさぞかし美味しかったことでしょう。

みなさんもぜひ地元の学校へお越し下さい。子供達が元気に学ぶ姿を目にすることで、日頃の見守りや声掛けになれば幸いです。

※ 「いも一れ」とは方言で「いらっしゃい」の意味



キハダマグロ釣ったどー！

宝勢丸鯉漁業生産組合で体験学習

名音小学校（新原由起子校長）の全児童7名は、奄美市名瀬大熊の宝勢丸鯉漁業生産組合を訪れシビ（キハダマグロ）釣り体験ツアーを行いました。

シビ釣りツアーは同組合がシマの魅力を発信し、観光の振興に役立てようと開発中の体験型プログラム。洋上で釣り上げたシビ100匹を大熊漁港内に設置されたイケス（8m×8m）で飼育し、隣接するイカダから竿で釣り上げます。

養殖状態となったシビは船が近づくと海面を叩いて回遊しており、釣り糸を垂らすとすぐに食らいつきます。子供達は竿から伝わる強い手応えに歓声を上げながら次々に釣り上げていきました。中には3キロオーバーの大物を一人で釣り上げ、満悦の笑顔でカメラに納まる児童も。

竿釣り体験の後は施設内へ移動し魚のさばき方や鯉節の製造を体験。初めて見る鯉節削り機に悪戦苦闘しながら手作業で鯉節を削りました。子供達はおそろお

そるほおばると「おいしー」と目を丸くしていました。

体験教室の最後には子供達が組合職員のみなさんに一日のお礼と感想を述べました。「今日初めて船に乗って魚を釣って楽しかったです。将来は水産業のお仕事がしたいです」との言葉に説明を担当した職員は目を細めて喜んでいました。



みんないっしょ、大和っ子

村内4校の小学生が大棚校に集合

大和村内の小学校は、大和小学校（43名）、大棚小学校（27名）、名音小学校（7名）、今里小学校（5名）の4校があり、82名の児童が通学しています。以前は小中学校併設でしたが平成23年度の中学校統合によってそれぞれが単独の小学校となり学校の規模が大幅に縮小。小規模校では複式学級での授業を行っています。

10月18日、少人数での集団活動や複式学級等、小規模校におけるデメリットを補完することを目的として、大棚小学校にて大和村立小学校4校集合学習が開催されました。集合学習は村内の全児童が大棚小学校に集まり、2時限目から昼休みまで各学年合同で授業や交流を行うもの。

2時限目、4年生の理科の授業を訪ねると、大和小の晨原弘久校長先生が気体の膨張について実験を行っ

ていました。子供達は多校の児童と協力して温度と体積の関係について調べていました。

大和村では、児童一人一人の個に応じた指導や、先生と児童、地域の強い結びつき等、小規模校ならではの特色を生かしつつ、大人数での集団活動や交流を経験し、中学校での教育に備えています。





《材料（カットサイズ）》
 豚あばら肉（大きめにカット）・豚ベーコン（厚めにスライス）・タマネギ（2〜3センチ角）・ジャガイモ（1/2カット）・ニンジン（乱切り）・パプリカ（大きめの長方形）・トマト（半月切り）・エリンギ（縦1/2）・ブロッコリー・高菜・白菜・赤かぶ・マイタケ・ニンニク・トマト水煮缶（季節の野菜なら何でも使用できます）
 《調理法》
 ①オリーブ油・ニンニク・トゥガラシを炒め香りを出す
 ②タマネギ・ベーコンを入れ炒める
 ③タマネギが飴色になったら豚あばら肉を入れ水を足す
 ④アクを取りながら1時間ほど煮込む
 ⑤白菜・パプリカ・トマト・トマト水煮缶・エリンギ・マイタケを入れ塩・コショウで味を整え30分程煮込む
 ⑥ジャガイモ・赤かぶを入れ弱火で煮込み最後に高菜・ブロッコリーを入れ5分ほど煮込んで完成
 ⑧器に盛りオリーブオイル・黒コショウ・粉チーズを振りかける



旬の食材盛りだくさん

イタリアのウワンフネヤセ 豚スペアリブの ミネストローネ

島の旬の食材を美味しく食べようという企画の「いっさごれ万歳」。料理を担当するのは奄美市の「居酒屋いっさごれ」料理長の森山修二シェフ（大和浜在住・51歳）。今日のメニューのミネストローネはイタリアで野菜スープのこととか。材料について訪ねると「使用する野菜に決まりはないよ。旬の野菜を入れるのが一番」と話す。素材選びも「市場代行便」（農家から野菜を集め青果市場へ搬送）をこなすシェフならではの。素材の味をシンプルに引き出すシェフの料理は、イタリア料理でありながらなぜか島料理とオーバーラップします。大きくカットされた野菜と大胆な骨付きあばら肉の盛り付けは島の正月料理、「ウワンフネヤセ」（豚肉と野菜の煮物）に見間違うほど。役得である撮影後の試食であばら肉をほおばると、まるでトシノヨル（大晦日）のウワンフネヤセの様な錯覚に。懐かしい味のイタリア料理に期せずして一年の暮らしを振り返る取材となりました（「ごちそうさまでした」）。

新設公園から浦内湾の景色を展望

伊藤祐一郎知事が5年ぶりに来村

伊藤祐一郎鹿児島県知事は、11月9日に開催された「奄美群島日本復帰60周年記念式典」に参列するために奄美大島に来島しました。当日は、記念式典や祝賀会など多忙なスケジュールの中、大和村を訪問。国直サンセットパーク（仮称）や野生生物保護センターを視察しました。

主要地方道名瀬瀬戸内線国直地内にある同公園は鹿児島県の魅力ある観光地づくり事業により整備されました。現場では伊集院村長が公園から望むロケーションのすばらしさと地域観光への波及効果などを伊藤知事に説明。知事は高台から眺める浦内湾の眺望と夏シーズンに見ることのできる夕日の画像に満足した様子。公園整備の効果について感触を確かめていました。

また、野生生物保護センターでは同センターが行っているマングース駆除事業や世界自然遺産登録に向けた取り組みについて説明を受けました。マングース駆除事業の説明では、センター職員が撮影した動画や実物のマングース、さらにはマングース捜索犬による捜

索の実演をご覧になりました。今後も地元市町村や国と連携し事業に取り組むことを約束しました。

伊藤知事が公務で来村したのは平成20年に行われた県政報告会以来とのこと。伊集院村長は、「村はこれまでも伊藤知事に村の状況をご説明し協力していました。このことが同公園の整備など特別な配慮をいただけたと思います。今後も県と連携を密にし相互協力の下、事業を推進していきたい」と語りました。



鹿児島県の最低賃金が改正されました。

使用者も労働者も
必ずチェック最低賃金！

地域別最低賃金	時間額	効力発生日	適用範囲
鹿児島県最低賃金	665円	平成25年 10月27日	鹿児島県下のすべての労働者に適用されます。 ただし、下表記載の産業に該当する場合は、各産業別最低賃金が適用されます。

特定（産業別）最低賃金	時間額	効力発生日	適用範囲
電子部品・デバイス・電子回路・電気機械器具・情報通信機械器具製造業（医療用計測器製造業を除く、ただし心電計製造業は含む）	700円	平成24年 12月21日	次に掲げる者を除く（ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます） ① 18歳未満又は65歳以上の者 ② 雇入れ後6月未満の者であつて、技能習得中のもの ③ 次に掲げる業務に主として従事する者 イ 清掃又は片付けの業務 ロ 手作業により又は手工具若しくは小型動力機を用いて行う組線、巻線、かしめ、取付け、バリ取り、かえり取り、錆ばり取り、刻印又は選別の業務（これらの業務のうち流れ作業の中で行う業務を除く。） ハ 手作業による包装、袋詰め、箱詰め、材料の送給又は取りそろえの業務
百貨店、総合スーパー	680円	平成24年 12月8日	「百貨店、総合スーパー」とは、衣食住にわたる各種の商品を小売りする事業所で、その事業所の性格上いずれが主たる販売商品であるかが判別できない事業所であつて、従業者が常時50人以上のもの。 次に掲げる者を除く（ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます） ① 18歳未満又は65歳以上の者 ② 雇入れ後6月未満の者であつて、技能習得中のもの ③ 清掃又は片付けの業務に主として従事する者
自動車（新車）小売業	724円	平成24年 12月19日	次に掲げる者を除く（ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます） ① 18歳未満又は65歳以上の者 ② 雇入れ後6月未満の者であつて、技能習得中のもの ③ 清掃又は片付けの業務に主として従事する者

＜最低賃金に関するお問い合わせ先＞

鹿児島労働局賃金室（電話）099-223-8278 川内労働基準監督署（電話）0996-22-3225
鹿児島労働基準監督署（電話）099-214-9175 加治木労働基準監督署（電話）0995-63-2035
鹿屋労働基準監督署（電話）0994-43-3385 名瀬労働基準監督署（電話）0997-52-0574

鹿児島労働局・労働基準監督署
http://www.kagoshima.plb.go.jp
最低賃金テレホンサービスTEL 099-223-8881

放送大学 26 年 4 月入学生募集

放送大学は、あなたの「学び」を応援します！

創立30周年を迎えた放送大学は、テレビなどの放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。「働きながら学んで大学を卒業したい」、「学びを楽しみたい」などさまざまな目的で、様々な年代や職業の人たちが学んでいます。大学や大学院の授業科目を1科目から気軽に学べるチャンスです。ただいま平成26年4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付致しますのでお気軽にお問い合わせください。

☐ 教養学部（学力試験はありません）

学生の種類			入学科	授業料
放送大学 教養学部	科目履修生	6カ月在籍して希望する科目を履修する	7,000円	1科目（2単位） 11,000円 （テキスト代含む）
	選科履修生	1年間在籍して希望する科目を履修する	9,000円	
	全科履修生	4年以上在学して学士の資格を取得する	24,000円	

☐ 大学院（18歳以上ならば誰でも修士選科生・修士科目生として入学でき好きな科目を1科目から学べます）

学生の種類			入学科	授業料
放送大学 大学院	修士科目生	6カ月在籍して希望する科目を履修する	14,000円	1単位11,000円 （テキスト代含む）
	修士選科生	1年間在籍して希望する科目を履修する	18,000円	

☐ 出願期間
平成25年12月1日～平成26年2月28日（インターネット出願は11月15日より受け付け開始）

☐ 資料請求
〒892-8790 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター西棟4階放送大学鹿児島学習センター
TEL 099-239-3811 HP <http://www.ouj.ac.jp>

じんけんフェスタ
2013 in 大和村

みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち 寄こよう 思いやりの心～

12月15日日

開場:午後1時30分
開演:午後2時

場所 大和村体育館

駐車場をご利用頂けます。

【プログラム】
人権啓発パネル展
アトラクション／大和浜集落 棒踊り
ミニライブ／はまだゆかり
人権啓発講演会／福田恵信
シマ唄ライブ／中村瑞希

入場無料

手話通訳
あります

【人権啓発講演会】
偏見差別なき社会の実現に向けて
～ハンセン病問題に学ぶ～
福田 恵信

【アトラクション】
大和浜集落／棒踊り

【ライブ】はまだゆかり

【シマ唄】中村瑞希

主催：鹿児島県、大和村、大和村教育委員会、鹿児島地方法検局、鹿児島県人権擁護委員連合会、鹿児島県人権啓発活動ネットワーク協議会
共催：鹿児島県教育委員会 後援：鹿児島県同和対策連絡協議会、鹿児島県人権同和問題啓発推進協議会

お問い合わせ：大和村役場 住民税務課 0997-57-2127

MBC 奄美復帰 60年スペシャル

平成25年12月16日(月)～12月25日(水)

奄美群島日本復帰60年を記念して、MBCでは「奄美復帰60年スペシャル」と題して、MBCテレビ・ラジオ・ホームページを通じて、奄美のイベントや人々、話題などを取り上げ、様々な取り組みを展開します。

復帰記念日当日 12月25日の番組

テレビ

18:00～19:00 「ニュースナウ1時間SP」
19:00～19:54 「どーんと鹿児島」～歌が伝える奄美の戦後史
20:00～20:54 特別番組「夜ネヤ、島ンチュ、リスベクチュ!!in鹿児島」

ラジオ

14:00～16:50 「城山スズメin奄美」

ラジオは1449KHz（名瀬）
またはラジコでお楽しみください。

ラジコのスマホアプリはこちら



奄美フォレストパリス
あまみのわくわくしぜん・ワンダーランド
 (HP) <http://www.amamiforest.com/> (FB) <https://www.facebook.com/amamiforest> (blog) <http://amamiforest.amamin.jp/>
ホームページ・ブログ・フェイスブックにて情報を発信中



大和村の人々の暮らしや風景を写した懐かしい写真を掲載する「ナツカシヤふおとぐらふ」。第4回目のふおとぐらふ（写真）は昭和43年の大和浜豊年祭で奉納された棒踊り。

棒踊りの起源は明治35年に大和浜出身の井原甚五郎氏（1861年生）が若者の士気の高揚と規律保持を目的として伝授したのが始まりと言われています。

踊りは長さの異なる2種類の棒と鎌、なぎなたを使用し、前後、左右と激しく棒をぶつけ合いながら踊る勇壮な舞です。歌詞は「君が代」、「霧島」、「白帆」の3番。構成は3部からなり、1部は6尺棒同士を使用し、2部は三尺棒と六尺棒を、三部は三尺の鎌となぎなたで踊ります。ゆっくりとした出だしから徐々にリズムを早めながら激しさを

ご誕生おめでとう

重村 希和さん（重村大剛・名音）
 新納 晃大さん（新納晃幸・大和浜）

お悔やみ申し上げます

武村 登 様（91歳・大和の園）
 森山 英治 様（76歳・今里）
 樋脇 正弘 様（78歳・大和の園）

香典返し（社会福祉協議会へ）
 森山 貞子 様（故森山英治様）
 樋脇 節 様（故樋脇正弘様）

ふるさと納税ありがとうございます

石川 雅信 様（神奈川県）
 堀口千津美 様（東京都）
 宮崎 裕子 様（福岡県）
 名古 潤子 様（神奈川県）

広報誌謝礼ありがとうございます

森 節子 様（岡山県）
 泉 富蔵 様（神奈川県）

こせきの窓

人口 1,650 人（△ 23）
 男 798 人（△ 3）
 女 852 人（△ 20）
 世帯 878 戸（△ 15）

11月1日現在
 （前年同月比）

おばあちゃんの「どっこいどっこい」の音頭で踊り始めました。ひょうきんな性格はパパ譲りかな。



吉本 鳳雅さん
 保護者・吉本弘典さん（湯湾金）

島の宝

満1歳おめでとう



今月の題字

（と）今里小学校5年 森彩花さん
 （ま）今里小学校5年 森聖也さん
 （や）今里小学校5年 山下竜輝さん

今里小学校は児童数5名の極小規模校ですが日頃からシマウタや三味線など郷土芸能に取り組み特色ある学習活動を行っています。今月の題字は5年生の3人に一文字ずつ書いていただきました。撮影前に感想を尋ねると「とっても良くできて満足しています」との答え。作品を見て納得です。立神をバックに誇らしげな笑顔で写真に納まりました。



撮影：榎谷正直（昭和43年）

ナチカシヤふおとぐらふ 第4回

増していきます。終盤の鎌となぎなたを使用した舞は「エイ！エイ！」の掛け声と共に鋼のぶつかる金属音が響き、2ページ画像のように柄がおれて刃が飛ぶこともあります。

写真の踊りは終盤の三尺の鎌となぎなたでの踊り。画像からは鎌となぎなたがぶつかり合う金属音が聞こえてくるような迫力が感じられます。

青年達の服装は、白鉢巻きにタスキ（色は確認できませんが現在は赤と青）、足下は白足袋にわらじ脚絆という勇壮な出で立ち。昭和43年の画像と今年の画像（2P）を比べて見ると服装はほとんど同じのようです。45年が経過しても変わらない姿と迫りに感動です。

一〇〇年前から大和浜の男達によって踊られてきた棒踊り。礼儀作法に厳しく教育に熱心な地域性は棒踊りによって受け継がれてきたのかも知れません。これからも大和浜独自の伝統芸能を大切に受け継いでいくことを願います。

※当連載、「ナチカシヤふおとぐらふ」ではより多くの写真を掲載し、大和村の歴史を振り返ります。古い写真をお持ちの方は掲載にご協力下さいますようお願いいたします。

奄美群島日本復帰60周年記念

第12回

まほろば大和 ウォーキング大会

森林浴をしながら
桜並木を歩いてみませんか



2014

1月26日
(日曜日)

場所：奄美フォレストポリス



ハルディック
ウォーキングも
体験しよう！



●コース及び出発時間等

ファミリーコース……4キロ (約1時間)
 桜並木散策コース……6キロ (約1時間30分)
 チャレンジコース……8キロ (約2時間)
 ●先着15名様に活動時計を貸し出します。
 【受付・スタート】フォレストポリス管理棟
 受付 8:30 開会式 9:40
 スタート 10:00 ゴール予定 12:00
 ●お楽しみ抽選会 (航空券も当たる!) 12:30

【昼食について】
 昼食 (豚汁・おにぎりセット) の受付をしています。
 ご希望の方は、下記へご予約ください。料金 (400円)
 マテリヤー兼座 58-3166 (キャンプ場内)
 予約注文は、1月22日 (水) まで



【主催】大和村・大和村教育委員会 【協賛】あまみ商工会・日本エアコミュニティー(株)・日本航空(株)
 【問い合わせ先】大和村教育委員会事務局 TEL.0997-57-2154/FAX.0997-57-2271